

第24回能登よさこい祭りにおける  
新型コロナウイルス感染拡大防止対策

能登よさこい祭り連絡協議会

(1) 当日まで

○踊り子及び参加者に関する対策

- ・当日参加者全員に体調チェック表の提出を義務付ける。なお体調チェック表には「氏名・連絡先・過去7日間と当日の体温・体調不良の有無」を記入するものとする。また情報は必要に応じて保健所等の公的機関へ提供されることを事前に知らせる。
- ・過去2週間に、37.5℃以上の発熱のあった方、体調不良を訴えた方、政府から入国制限ならびに入国後の観察期間を必要とされている国・地域等へ渡航歴がある方、同居家族に感染が疑われる方がいる方、新型コロナウイルス陽性判定を受けた方、また陽性判定を受けた方と濃厚接触がある方については参加を禁止する。また、参加者がこれに該当しないことを報告してもらう。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策を事前に参加者に伝える。
- ・事前に当日の動線を伝え、当日の混乱による密を避ける。
- ・各チーム練習時に個別に十分な対策をとるよう伝える。具体的内容は以下。
  - ・日常生活におけるマスク着用、小まめな手洗い・手指の消毒
  - ・人と接触する機会を減らす。また接触する場合は一定の距離を保つ。
  - ・練習においては普段の健康チェックに加えて練習施設の感染対策のチーム内の周知。
  - ・練習施設での出入りの際には、手洗い・手指の消毒をし、多くの人が使用する箇所はできる範囲で消毒する。
  - ・練習では可能な限り、密な状態を避けるため、集合、着替え、解散等には十分な時間を確保し、場合によっては時間差を設け、人数制限する等の工夫をする。
  - ・演舞について、会場では人数制限や距離等の制限は設けないが、振付などでできるだけ距離をとるように調整する。
  - ・開催2週間前から大人数での会合や飲食等を控える。

○開催可否の判断に関して

- ・8月末の新型コロナウイルス感染拡大状況を考慮した上で、**9/1(水)**を目処に最終的な開催可否の判断を発表する(9/1(水)に開催の判断を下してもそれ以降に感染拡大状況が急激に変化した場合には中止となる可能性もある。)

(2) 当日

○スタッフに対する対策

- ・37.5℃以上の発熱のあるスタッフ、体調不良のスタッフは帰宅させる。
- ・不特定多数が触る備品・機材等について、事前に消毒をし、終了後にも消毒をする。
- ・都度手指消毒をする。
- ・従事中は必ずマスクを着用し、スタッフ同士の密を避ける。
- ・音響機材や備品等の使用は極力スタッフを限定させ不特定者の共有を制限する。

○踊り子、参加者に関する対策

- ・集合時間を調整することと演舞後の速やかな退場を促すことにより、チーム間の距離の確保を徹底する。
- ・待機場所等での会話はマスク着用とする。
- ・入場前待機場所での手指消毒を徹底し、検温を行う。
- ・演舞終了ごとにマイクの消毒を行う。
- ・移動中のマスクまたはフェイスガードの着用を義務づける。
- ・来場者と接触するような演出（声援を促す、来場者をステージにあげる、物を配布する、ハイタッチをする等）を禁止する。
- ・演舞前の円陣を禁止する。
- ・地方車上に乗る人員はカメラマン等も含め2名までとする。

○来場者に関する対策

- ・ソーシャルディスタンスを確保する。
- ・観覧スペースの最前はステージ前から十分な距離（2 m以上）を取る。
- ・各所に手指消毒液を設置する。
- ・随時司会によるアナウンスとスタッフによる呼びかけをし、観客間の距離の確保、手指消毒、マスクの着用、会話を控えていただくことを促す。

○感染が疑われる事案が発生した場合

- ・速やかに会場担当者へ報告する。またスタッフがマスクや手袋を着用して速やかに医療機関及び保健所へ連絡し指示を受ける。

(3) 終了後

○スタッフの対応

- ・個人情報保護等の観点から名簿等の保管に十分な対策を取る。
- ・感染が疑われるものが出た場合、保健所等の公的機関による聞き取りに協力し、必要な情報提供を行う。